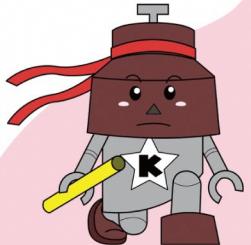


# Co-Labo

コ・ラボ  
川口市男女共同参画情報紙

NO.62  
通巻 2020.3



## 特集 スポーツの祭典 ～誰もが尊重しあう世界をめざして～



### Interview

シッティングバレーボール  
チーム・アミーゴ 代表

高砂 進さん

# スポーツの祭典

～誰もが尊重しあう世界をめざして～

近年、「多様性」という言葉を耳にする機会が増え、社会における男女共同参画を取り巻く環境も徐々に移り変わっています。それはスポーツの世界においても同様です。

誰もが活躍できる社会の構築に向けて、スポーツを通じて男女共同参画やアイデンティティについて考えてみませんか？

※アイデンティティ：その人自身の特性

## 東京オリンピック開催

いよいよ 2020 年 7 月、4 年に一度の世界的なスポーツの祭典、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。今大会でも多くの選手たちが真剣勝負を繰り広げ、たくさんの感動シーンが誕生することでしょう。今回は、コンセプトの一つに「多様性と調和」を掲げ、「人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障がいの有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩」するとしています。

※TOKYO2020 大会ビジョン <https://tokyo2020.org/jp/games/vision/>



### 東京オリンピックで新たに追加された男女混合種目



柔道



セーリング



競泳



バドミントン



トライアスロン



テニス



卓球



射撃



陸上

### オリンピックにみる男女平等

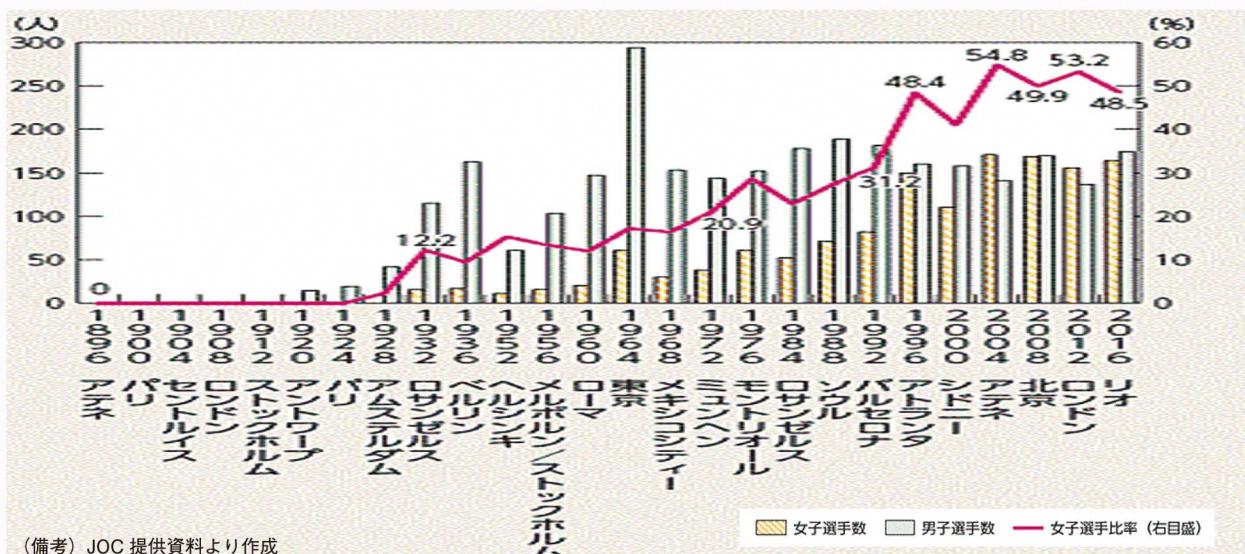
第 1 回オリンピックが開催された 1896 年当時、アテネ大会は参加国が欧米 14 カ国であり、スポーツは男性貴族のものでした。1900 年のパリ大会から女性も参加できるようになりましたが、参加競技はテニスとゴルフのみで、女性選手比率はわずか 2.2% でした。スポーツをすることが、当時でいう“女性らしさ”の概念と合致しないとされてきたためです。

しかし、参加国や女性が参加可能な競技は開催ごとに増え、2012 年ロンドン大会では全競技に女性が参加できるようになりました。東京オリンピックでは 206 の国と地域が参加を予定しています。そして、男女混合形式の 9 種目が新たに加わります。

# 夏季オリンピックにおける日本女子出場選手の割合

図のように、オリンピックにおける日本女子選手の割合は、1932 年のロサンゼルス大会を皮切りに増加傾向となっています。そして 2004 年のアテネ大会からは全体の約半数が女性選手となり、比率の点では男女平等が実現しつつあります。

夏季オリンピックにおける日本女子出場選手の割合



参考：内閣府男女共同参画局「H30 年男女共同参画白書」

## 多様性を受容できる世の中へ

パラリンピックは、オリンピックの開催都市と長く一致していないこともありましたが、2001 年から「オリンピックの招致にはパラリンピックが含まれなければならない」との内容が規約に含まれるようになりました。さらに、国籍を変更したり、難民選手団が出場を果たすなど、国家という枠組みに捉われない選手の活躍を目にする機会も多くなつたのではないでしょうか。

また、基本的にスポーツは男女に分かれています。そのためトランスジェンダーの参加はハードルが高い状況でしたが、2016 年のリオ大会からはトランスジェンダーの参加要件が一部改善されています。

日本は今後、社会が多様化していく中で国籍やアイデンティティーについて考える機会もさらに多くなることだと思います。なぜなら海外では、両親や祖父母などが複数の異なる人種・民族的なバックグラウンドを持つ人も多く、アイデンティティーは意識せずに済む問題ではないからです。オリンピック出場選手のみならず、誰もが希望をもって、自分らしく活躍できるような社会へと、みんなで力を合わせ意識を変えていきたいですね。

### 新たな取り組みの一例も

スポーツを取り巻く環境では、まだまだ格差が見受けられるのが現実です。そのため、収入の点では意識の改革が必要です。収入が得られなければ、スポーツ選手をめざす人が減り、夢を持つことをあきらめてしまう人も出てくるかもしれません。一部の国では、大会の報奨金を男女同額にしています。

## Gender Equality Interview

「シッティングバレーボール※」をご存じですか？  
2020年のパラリンピック正式種目です。

今回、川口を拠点に活動している「チーム・アミーゴ」の代表を務める高砂進選手にお話を伺いました。

※シッティングバレーボール：1956年、戦争で傷ついた兵士たちのリハビリを目的にオランダで考案され、世界に広まった。障がいのある選手を対象とし、お尻（臀部）を床に付けた状態で競技するバレーボール。コートは立位で行う場合より小さく、ネットも低いなど、ルールの一部が変更されている。



### ◆始めたきっかけ

20歳の時に交通事故で左足を失い義足に。その後、大学を卒業してから知人の紹介で競技と出合いました。中・高校の部活がバレーボール部でしたので簡単にプレーできるかと思っていましたが、いざやってみると座ったままボールを取りに行くのはとても難しく感じました。

そのような中でも、やはりボールを打ち込む感覚は、スカッとして気分の良いもので、「どうしたらうまくいくのだろう、もっとじょうずになりたい」との気持ちを抱き、自然とのめり込んでいきました。

### ◆魅力を知ってほしい

ネットが低く、コートも小さいため、年齢差や体格差をさほど感じずプレーでき、障がいの有無に関係なく大人から子どもまで楽しめるところが魅力です。最も重要なルールは、「プレー中に臀部が床から離れると“リフティング”」というファウル（反則）になる点で、選手はお尻を床に付けたまま、腕の力などでお尻を滑らせるようにしてコート内を移動します。

また、相手のサーブを直接ブロックできる点が、立位で行うバレーボールと異なります。スピーディーな試合展開やラリーの応酬など、見どころの多いチーム競技です。



### ◆取材を終えて

快く取材に応じていただいた高砂さん、チームの皆さんありがとうございました。練習の輪に入れていただき、とても楽しかったです♪

2020年の東京パラリンピックに出場される選手もいるとのこと、世界での活躍を楽しみに応援しています！！（七星）

☆シッティングバレーボール体験できます☆

ご興味がありましたらお気軽にご連絡ください♪

是非、体験だけでもいかがでしょう！！ご連絡先はこちらまで→



チーム・アミーゴ  
公式Twitter

シッティングバレーボール「チーム・アミーゴ」代表  
SUSUMU TAKASAGO

### 高砂 進選手

川口市出身。一般社団法人日本パラバレーボール協会選手会長。  
2008年北京パラリンピック日本代表。  
東京都の職員として勤務しながら小・中学校を訪れ、子どもたちに同競技の体験授業を行い競技普及に力を注いでいる。

### ◆チーム・アミーゴの活動

生まれ育った川口へ数年前に家族で転居し、“地域の方と楽しい仲間（アミーゴ）を作りたい”との思いから立ち上げました。現在は、十二月田中学校などで練習をしています。

チーム・アミーゴは、老若男女、健常者、障がい者を問わず10代から50代の約20名で構成するチームです。さらに、練習には遠方の他チームの選手が参加することもあります。そのため、さまざまな地域の方々と出会い、自然と仲良くなれるというオマケも。まだまだ競技人口が少ないので、すぐに全国大会に行くことができますよ！

いろいろなスポーツがありますが、僕は“楽しんでスポーツがしたい！”この考えは学生の頃から変わりません。川口市の皆さん、ぜひ一緒にシッティングバレーボールをしませんか？



誰もが楽しめる



## 青木町公園



川口市西青木4丁目8番



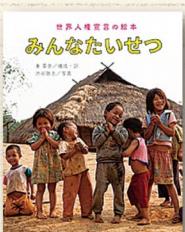
世界の人たちと笑顔でつながるために

## みんなたいせつ 世界人権宣言の絵本

東 菜奈 翻訳 渋谷 敦志 写真 岩崎書店

誰もが当たり前に尊重され、自分らしく生きられる社会をめざして

世界中の人々が保障されるべき基本的権利を規定した「世界人権宣言」。1948年に採択されて70年以上経った今もなお、紛争・戦争、児童労働、虐待、貧困などによって多くの人たちの人権が侵害され続けています。人種や国籍、性別、性自認・性的指向、障がいの有無……そうした個々の違いによって偏見・差別を受けることのない社会を作っていくために、もう一度、人権について考えてみませんか？



## 祈り 北朝鮮・拉致の真相（復刻版）

新潟日報社特別取材班 著 新潟日報事業社

拉致されたすべての人々の、一刻も早い帰国を願って

ある日突然、拉致によって引き裂かれてしまった被害者とその家族。拉致はなぜ、どのように実行されたのか。被害者や家族はどれほどの苦しみの中で日々を送り、懸命に救出活動を続けてきたのか——。2002年10月に帰国を果たした被害者本人や家族、周囲の人たちの証言と、丹念な取材・検証によって“拉致の真相”に迫った貴重な一冊です。本書では川口市出身の拉致被害者・特定失踪者5名についても触れられています。



## スポーツと自然のコラボレーション

春には安行桜のお花見、夏には噴水で納涼、秋には紅葉狩り、そして冬にはマラソン大会と、四季折々の楽しみ方ができる総合運動公園です。大きな水泳大会にも使用されるプール、テニスコート、市営球場、全天候型トラックの陸上競技場のゾーンに分かれ、土俵や弓道場、トレーニングルームなどの施設も充実。前回の東京オリンピックの際に川口市の鋳物工場で作られた聖火台レプリカや、大正生まれのSL(蒸気機関車)9600形の展示などもあり、歴史を感じながら散歩もできます。そのうえ、23時まで照明が灯っているので、夜のジョギングなどのトレーニングにも取り組めます。(小谷松)



運動場利用に関する問い合わせ :

公益財団法人川口市スポーツ協会 TEL : 048-251-6893

その他の問い合わせ : 川口市役所公園課 TEL : 048-242-6337

駐車場 : あり

※開園時間はHPでご確認ください。

公益財団法人 川口市スポーツ協会 HP

父親になるとき、  
考えてほしいこと

「妊娠・出産に伴う母体のダメージは、交通事故に遭って全治一ヶ月の状態と同じ」——そう聞くと、産後の妻を休ませたいと思いませんか？見た目に異変はなくても、妻の心身は“非常事態”です。政府は、男性の育休取得率目標を「2020年度までに13%」と掲げています。しかし、男性の育休取得率は表のとおりです。また、育休期間は「一ヶ月以内」が72.1%で最多、川口市男性職員は「一週間程度」と、極めて短いのが残念です。川口市長は、上司が部下の育児や介護を後押しする「イクボス宣言」をしており、男性職員の育休取得率向上と育休期間拡大の推進が期待されます。育児休暇の取得は父親の権利です。男性が育休を取得しやすく育児に主体的な街・川口市をめざしましょう。

平成30年度男性育児休暇取得率	
国家公務員（一般職）	21.6%
民間企業	6.2%
川口市役所職員	6.6%

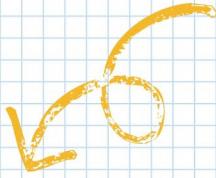
※小数点第2以下は四捨五入して表記しています。

参考：厚生労働省「平成30年度雇用均等基本調査」  
人事院「平成30年度仕事と家庭の両立支援関係制度の利用状況調査」



## セミナー潜入レポート！

# 川口市男女共同参画セミナー 「伝える・伝わる コミュニケーション術 ～家庭や職場で上手に頼むコツ～」



11月20日(水)10時～11時30分

会場：キュポ・ラ本館棟 M4階 かわぐち市民パートナーステーション会議室

主催：川口市・川口の男女共同参画を考える会（ワーク・ライフ・バランスを考える部会）

交渉アドバイザーとして活躍され、三児の母でもある萩原佐江子氏を講師に迎え、上手に頼むコミュニケーション術を学びたい方を対象としたセミナーが開催されました。

はじめに3人1組となり、グループワークをしながらコミュニケーションについて学びます。命令と感じる話し方や、より良いコミュニケーション方法についての講義を聞いた後、自分が伝えたい内容をワークシートに記入し、各グループでロールプレイ。伝えたいことを相手役に伝え、相手役もなりきって応えます。相手の気持ちを考えたうえで伝えたつもりでも、実際に相手役の人にどう感じたのかを聞いてみると、伝わっていなかったことも見つかり、改善点がわかります。ロールプレイ中は各グループで笑いが起こる場面も……。

「本当に伝えたいことを、愛情を持って温かく伝える『Warm & Tough』のコミュニケーション術を意識すると人生が変わります」と萩原さん。

参加者は楽しみながら、コミュニケーションのコツを学ぶことができました。（田村）



講師：萩原 佐江子氏

### 受講者の声

- ・ロールプレイでは新たな発見がありました。相手の気持ちがわかったので、これから生かせそうです。
- ・とにかく楽しい講義でした。ロールプレイでは、相手にどう伝えればよいのか、学ぶことができました。



### イベントREPORT!

こんなイベント行ってきました！

### 編集委員レポート

## 第18回ボランティア見本市 ～キラキラ😊に会いにきて♪～

10月20日(日) 10時～15時 会場：川口西公園（リリアパーク）  
主催：ボランティア見本市実行委員会、川口市、(福)川口市社会福祉協議会

10月の第三日曜日は「かわぐち市民ボランティアの日」です。天候に恵まれたこの日、社会貢献活動を行う団体が一堂に集まるイベントが開催されました。

会場では、参加団体の出す問題に答えるクイズラリー、ボランティアを体験できるブース、防災体験コーナーやステージ上で行われる演目など、老若男女問わず楽しめるプログラムが盛り沢山。首の座らない新生児の人形を抱っこできるブースでは、「こんなに重いの？でも可愛い」と嬉しそうに抱っこしたり、ベーゴマを教えてもらえるブースでは「難しいけれど、面白い！」と夢中になっている子どもたちがいました。盲導犬体験コーナーでは、実際に体験した人が「最初は見えない怖さがあったけれど、ゴールまで行けてよかった」と嬉しそうに教えてくれました。

来場者は、普段できない体験をしたり、ステージ公演を見たり、楽しみながらボランティア活動について知ることができたようです。（田村）



### 来場者の声

- ・ステージで手話コーラスを見て、手話に興味が出ました。早速、習ってみようと思います。
- ・子どもたちの歌やダンスがとっても可愛かったです。また来たいです。



# Kawaguchi News Report

- 男女共同参画情報紙  
「Co-Labo(コ・ラボ)」編集委員を  
募集します
- 募集人数／4人
  - 活動内容／情報紙の企画や取材、原稿作成など  
※編集会議は月に1回、土曜日に川口駅東口キュポ・ラ  
本館棟M4階「男女共同参画コーナー」で開催します。  
※調査・取材は随時行います。
  - 応募資格／市内在住・在勤・在学で、令和2年4月1日  
現在満18歳以上であること
  - 任期／令和2年4月～令和4年3月  
(1期2年間。最長2期まで)
  - 発行回数／年2回(3月・9月)
  - 応募方法／応募用紙に必要事項を記入のうえご提出ください(郵送/メール/直接持参)  
※応募用紙(Word形式)はキュポ・ラM4階で配布又は  
市のホームページからダウンロードもできます。
  - 応募期間／~3月17日(火)必着
  - 選考方法／書類審査及び面接
  - その他／会議への出席等につき2,000円をお支払いします。

## 「Co-Labo(コ・ラボ)」とは

公募による市民編集委員が中心となって企画・編集を行い、3月と9月の年2回発行しています。男女共同参画に関するタイムリーな話題から、多方面で活躍する川口の人々、市で実施している事業の紹介やちょっとためになるコラムまで、毎回充実の内容でお届けしています。



## 男女共同参画苦情処理委員制度について

川口市男女共同参画推進条例第14条の規定に基づき、市が実施している男女共同参画の推進に関する施策または男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策等に対して、市民の皆さんから苦情の申出や意見の提出ができる制度です。詳しくは、市ホームページをご覧いただか、協働推進課にお問い合わせください。

<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/01060/020/8/4174.html>

## ○DVに関する相談先

### 川口市配偶者暴力相談支援センター

#### 窓口相談

●相談日時●

毎週 火～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前10時～午後5時

※事前予約制です。

☎ 048-299-8162

#### 女性のための電話相談

●相談日時●

毎月 第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日) 午後1時～午後3時

※ひとり30分まで相談を受けます。

☎ 0120-532-317

(相談日時のみ通話可)

## その他の相談先

### 川口市役所 市民相談室 (法律相談・ファミリー相談等)(予約制)

月～金(祝日・年末年始を除く)  
8:30～17:15

☎ 048-258-1110

### 最寄りの警察署(生活安全課)

月～金(祝日・年末年始を除く)  
8:30～17:15

川口警察署 ☎ 048-253-0110  
武南警察署 ☎ 048-286-0110

## 緊急の時は110番!

配偶者や恋人など親しい間柄で行われる暴力行為をDVといいます。殴る・蹴るだけが暴力ではありません。

- 何を言っても無視する
- 交友関係を制限する
- 避妊に協力しない
- 性行為を強要する
- 生活費を渡さない
- 暴言を吐く

✓(チェック)がひとつでもついたら、DVかもしれません。  
一人で悩まずに、まずはご相談ください。



市役所からのお知らせ



## 川口市「みんなが主役～家族の育児～」フォトコンテスト

令和元年度

## 受賞作品の発表

令和2年2月8日(土)に開催された『COLORFUL(カラフル)ふえすた～男女共同参画イベント～』で、受賞作品の表彰と応募作品の展示を行いました。

## 優秀賞



『一緒に読もうね』



『パパの初抱っこ』



『ボクダチ、いきもの調査員！』



『ジジ見て！お花が咲いているよ！』



『パパに散髪してもらったよ』

カラフル  
COLORFUL ふえすた実行  
委員長賞

『大好きなうどんの作り方教えて！』

カラフル  
COLORFUL ふえすた  
実行委員  
特別賞

『ある日の休日。』

きゅばらん  
賞

『パパにおんぶにおんぶ』

事務局

川口市市民生活部  
協働推進課〒332-0015 川口市川口1-1-1 キュポ・ラ本館棟M4階  
TEL 048 (227) 7605 FAX 048 (226) 7718

## 編集後記

市民編集委員  
内田 優・小谷松裕子  
関 佳子・田村あい子  
七星朋子 ※五十音順

◆日本は今、「多様化社会」に向けての転換期を迎えています。誰もが住みやすく、希望をもって暮らしていくよう『相手を受け入れ、認める』という思いやりの気持ちが大切だと改めて感じました。(内田)◆共働き世帯が専業主婦世帯の2倍以上となり、子育てしながら仕事をする女性も急増しています。子育てこそ【男女共同参画の最大のテーマ】です。(小谷松)◆東京五輪を間近に控えた今号では、川口市にも被害者がいる「北朝鮮拉致問題」関連の書籍を紹介しました。世界中の人々と眞の交流を図るためにも、一刻も早い解決を願います。(関)◆ボランティア見本市へ。たくさんの方に話を伺うことができ、私も何かできることから始めてみたいと思いました。楽しい取材でした。(田村)◆今回で市民編集員を卒業させていただきます。「コ・ラボに掲載するネタはないかな?」などと考えると川口の街並みも違って見て楽しかったです。本当にありがとうございました。(七星)